

百合園

セ

の

ア

は

愛玩動物の夢

を見るか？

DOJIN

R18+

成人向け

あらすじ

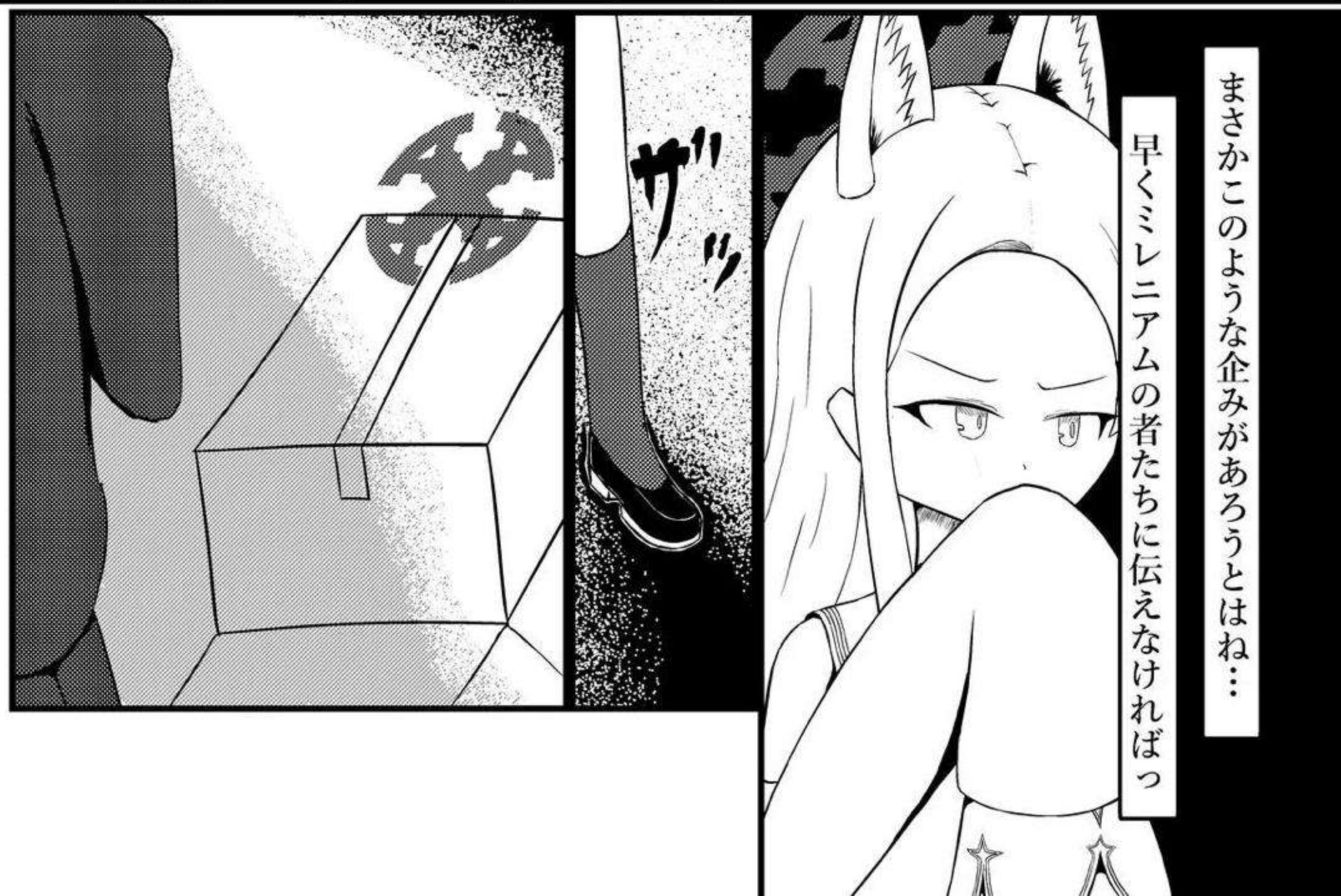
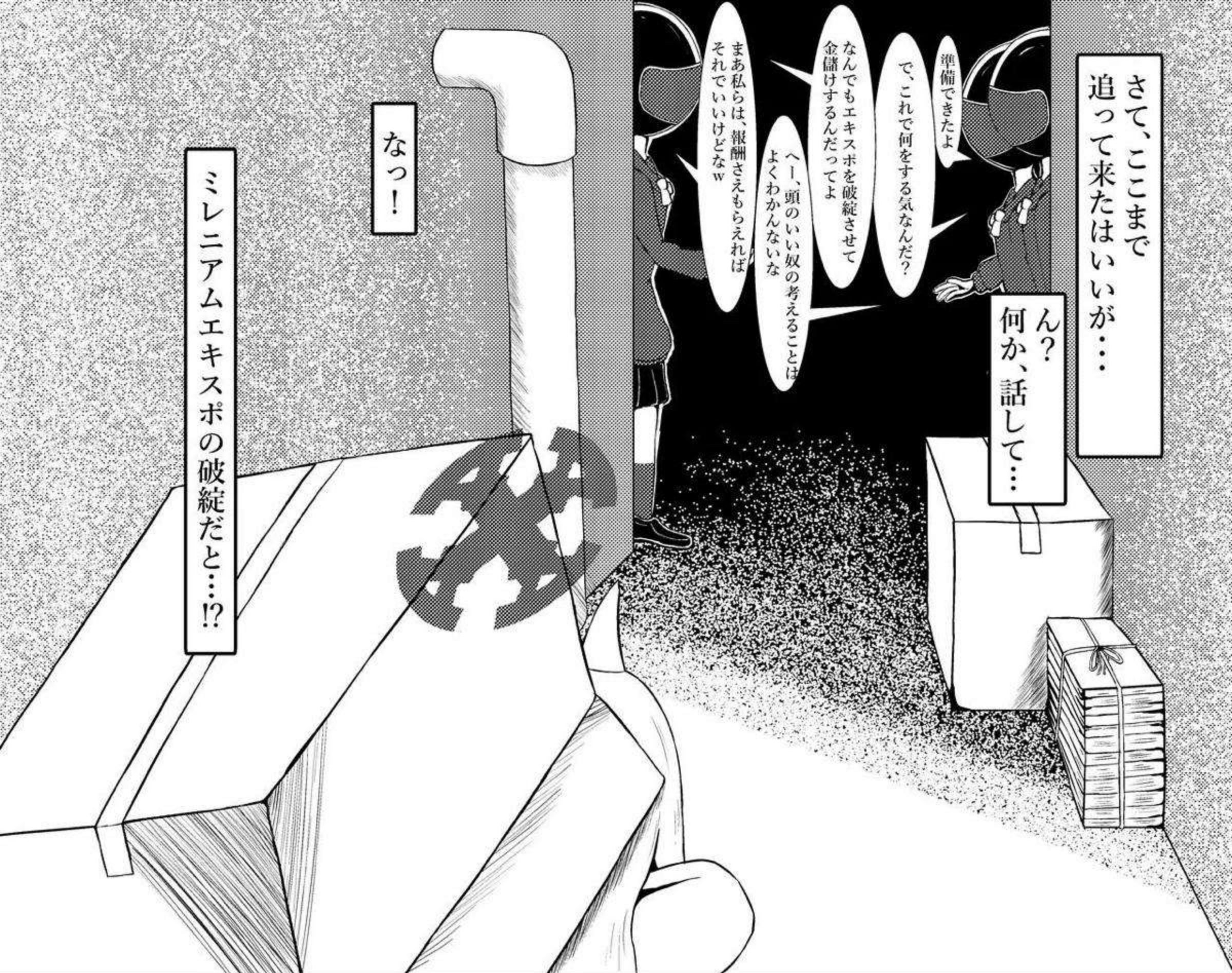
トリニティの代表として  
ミレニアムへとやってきた  
百合園セイア



彼女は到着早々  
怪しげなヘルメット団を  
目撃してしまう



ヘルメット団の動きが  
気に掛かった彼女は  
一人、ヘルメット団の後を追  
地下道へと進むのであった…









頼んでおいた  
テストーは  
見つかりましたか？

ヘルメット団の  
みなさんじゃないですか？

はいはい  
おおっ！



え、ほ

え、ほ

おーい

コン  
コン  
ドクター、居るか？

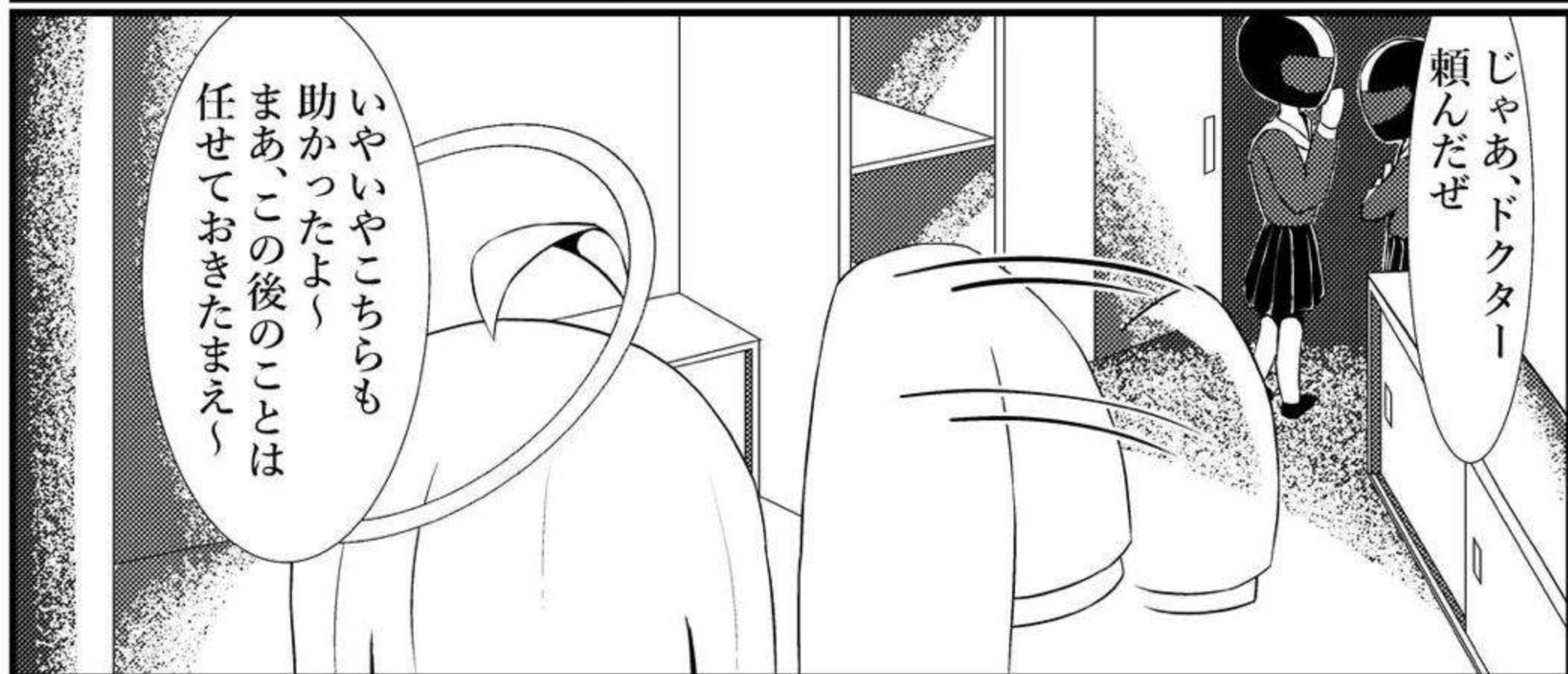


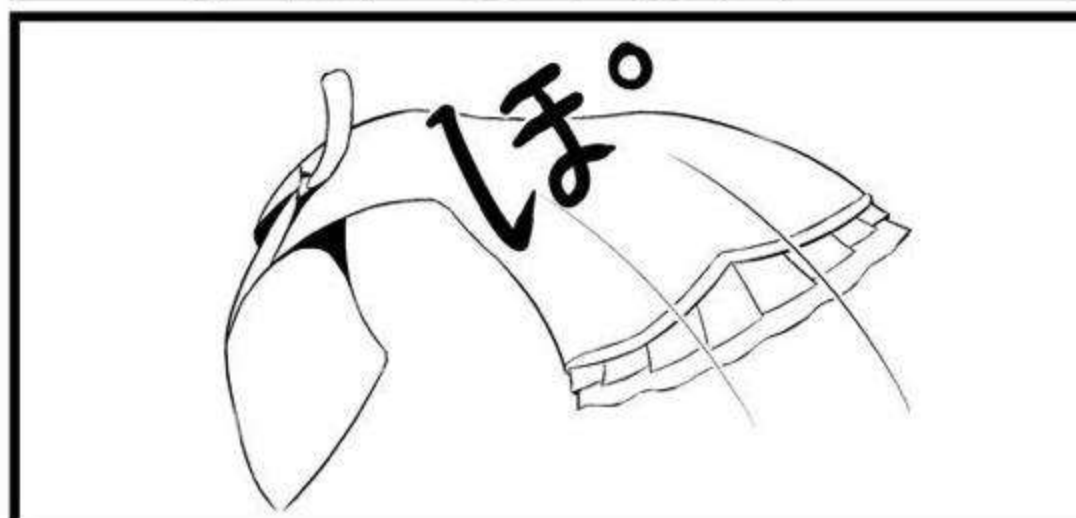
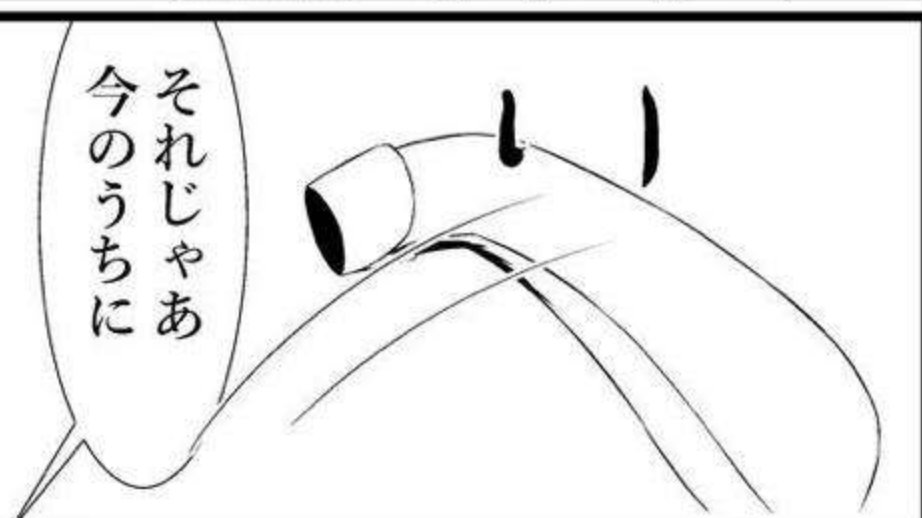
ああ、  
ほら、前攫ってきても  
いいからって言ってたから  
連れてきたぜ

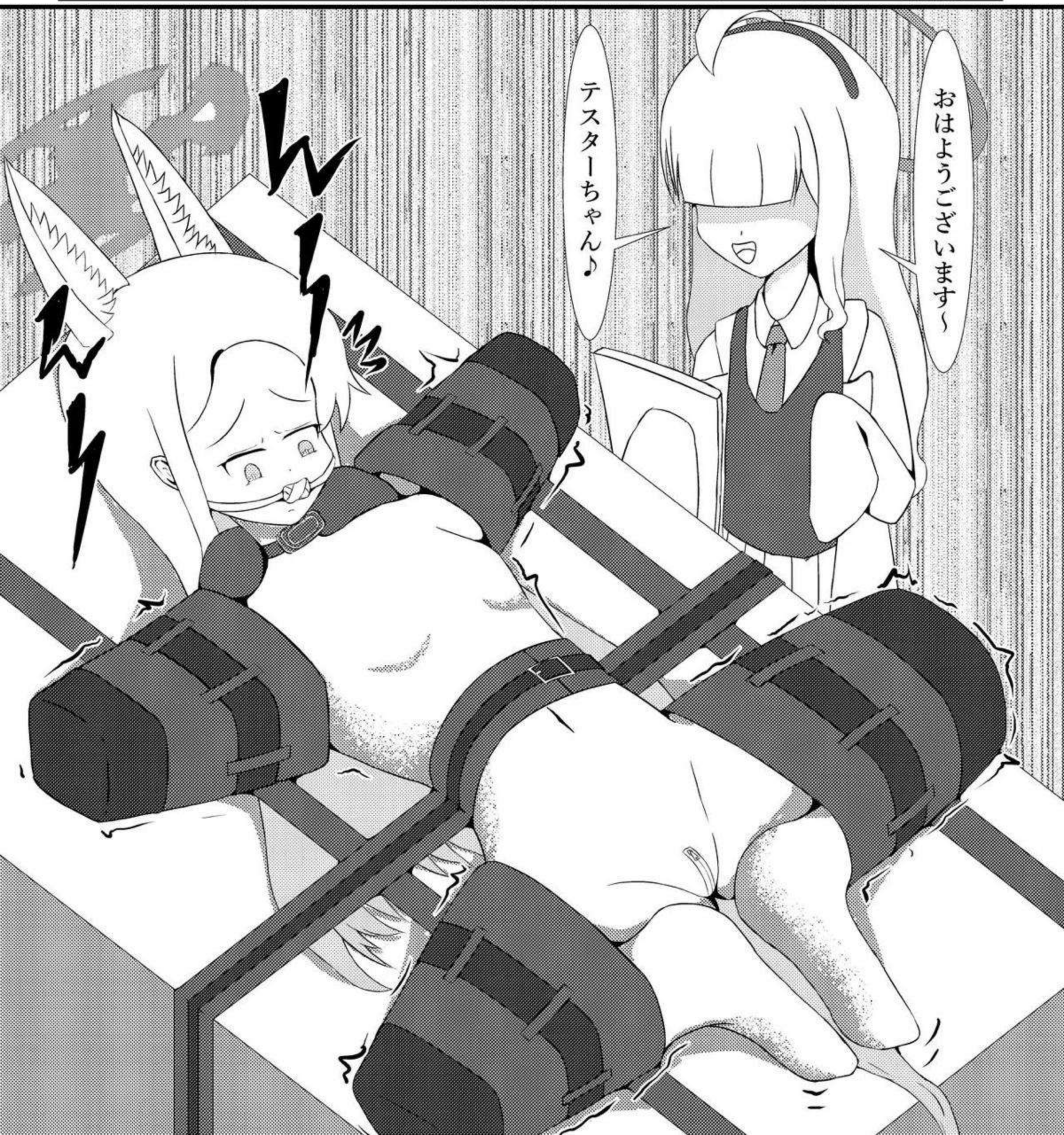
大丈夫ですよ  
助かります  
おや、ミレニアムの  
生徒さんですか？

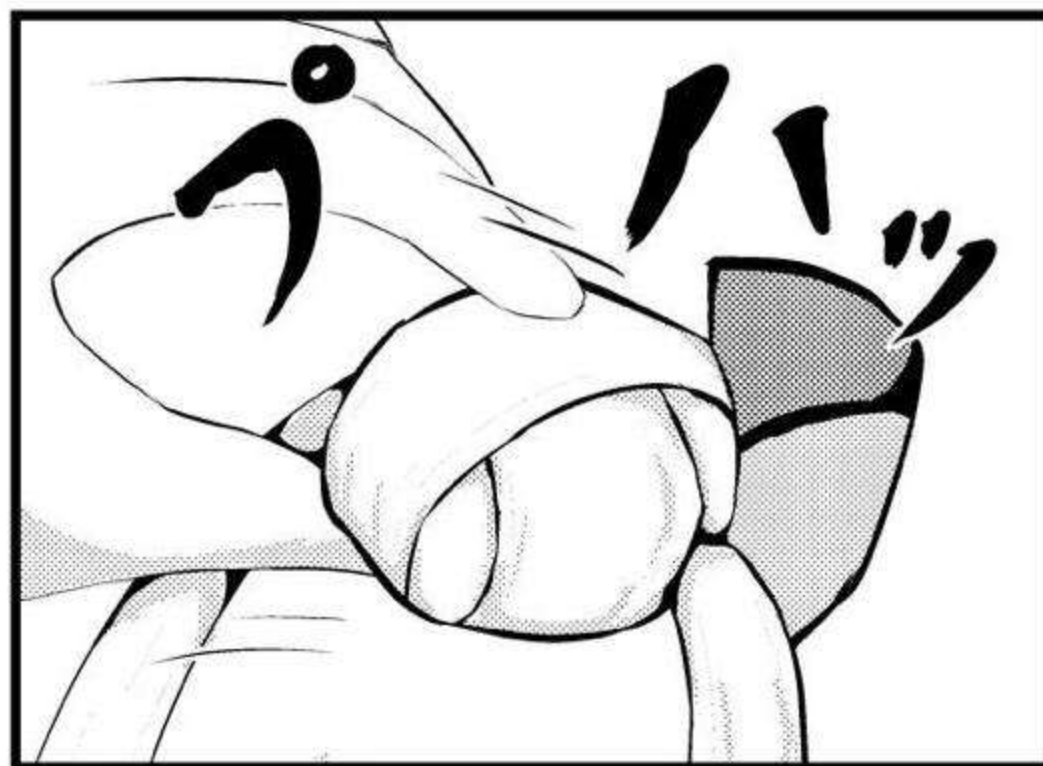
ああ、ミレニアム  
のお嬢様だけど  
ダメだったか？

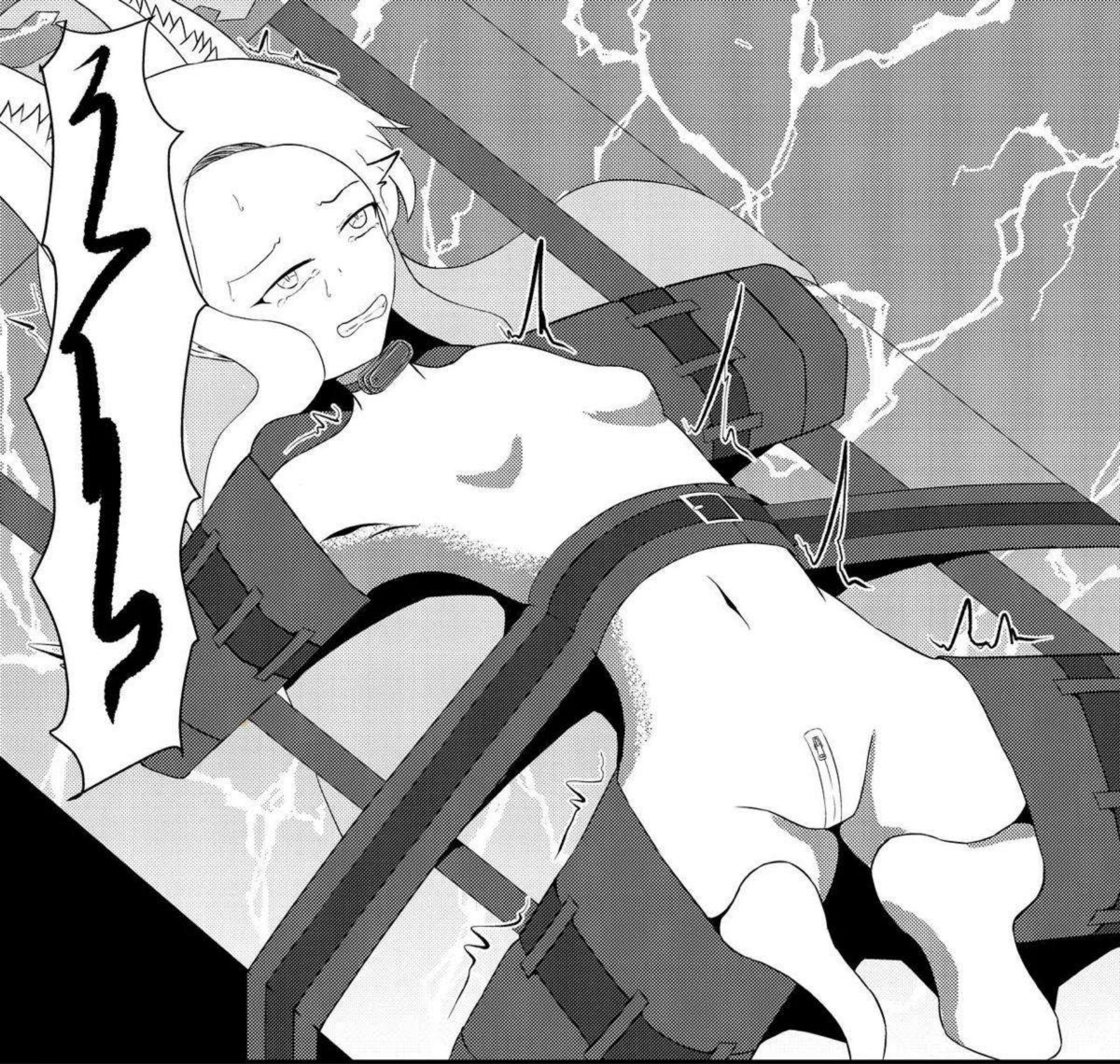
まあ、ちよつとの間ですし  
大丈夫でしょう  
とにかく助かりました  
これでようやくデータが取れます











本当はいろいろ  
お話してあげたいんですけど  
今は時間が無いから  
ちよつと我慢してね〜

だからそのために、  
自由になって  
直ぐで悪いんですけど…

また寒いじゃうね？



ラ

ガサ  
ゴッ  
ガサ

な、なんだいこれは…？  
こ、これを  
啜えろというのかい？

む、無理だ、  
こんなもの…  
入るわけ…

心配しなくても  
大丈夫ですよ  
ちゃんと、君のサイズを  
測って選んであるからね

それとも…

こっちの方が  
良かったかい？

スッ

ビッ クッ

プル プル

オグ

シグ



察しがいいね、  
そうそう、わんちゃんには  
尻尾が必要だからね、

君には自前のがあるけど  
ない子もいるからね、

無い子用のテストも兼ねて  
尻尾、生やしてあげるね？

まずは、薬を塗って



しっかりほぐしてつと

トロ



あとはこれを

差し込んでつと

お、入った



プッ  
お尻だけじゃさみしいだろうから  
前にも入れてあげるね〜

これでお着換えは終わりかなあ  
いや〜、お疲れ様

これでよしと

最後にしっかりと  
ジッパーを閉じて〜

そうだ、  
せっかくだから…

こうやって  
結わえて…

よし、これで  
自分でお尻を弄れるね♪

あはは、ごめんごめん  
馬鹿にするつもりはないんだよ  
でも、これからどんどん  
気持ちいい事をしていくからさ  
我慢できない時に、  
自分で弄れるようにという  
配慮だよw

まあまあ、  
そう怒らないで  
くださいよ

ほら、体を繋いでる  
ベルトを外して  
あげますから

散歩に行きましょう？

チャ  
カ  
チャ

では行きましょうか  
テスターちゃん

ゴ  
ロ

ゴ  
ロ

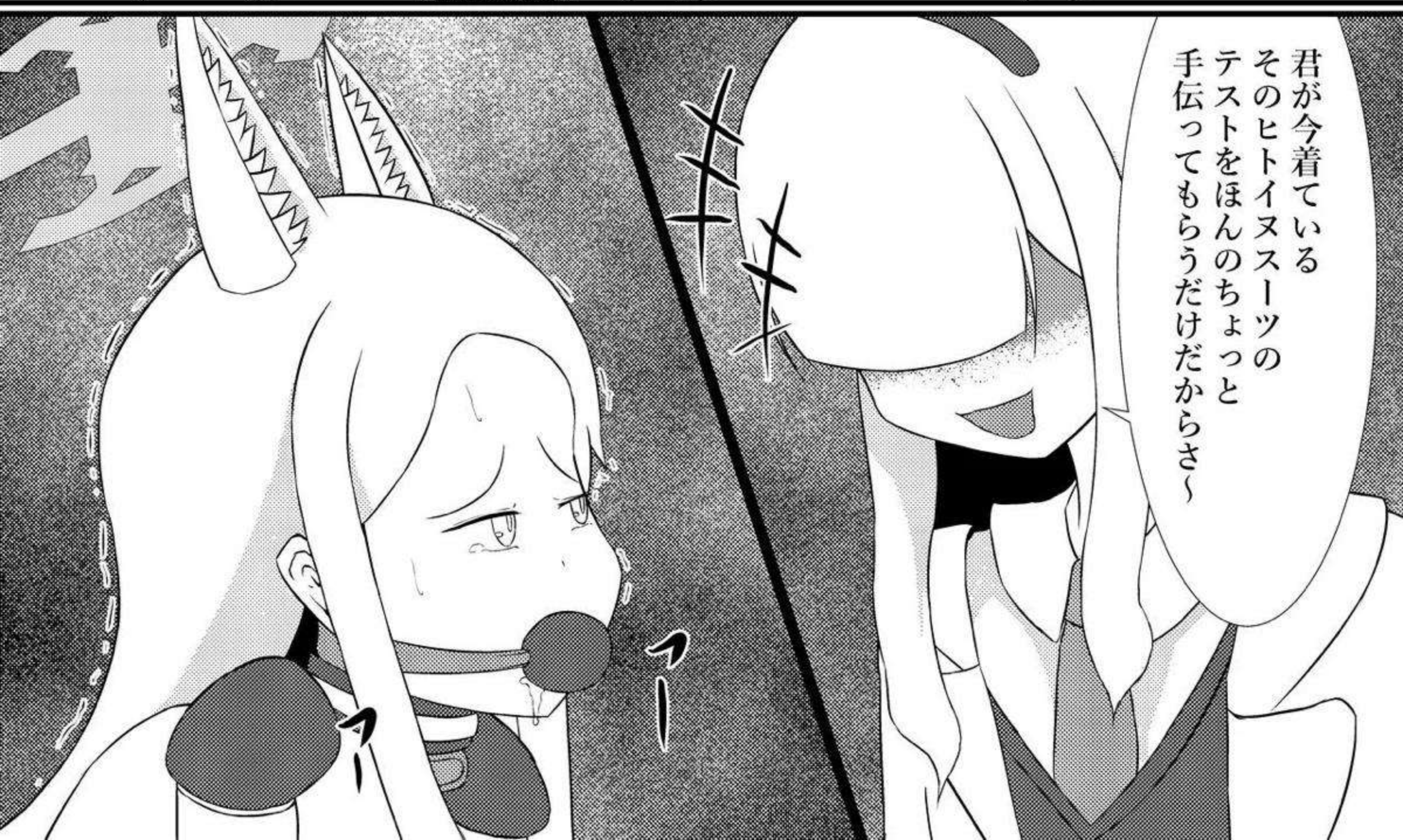


とうちゃくく  
と言っても、  
そう遠くなかったでしょ？

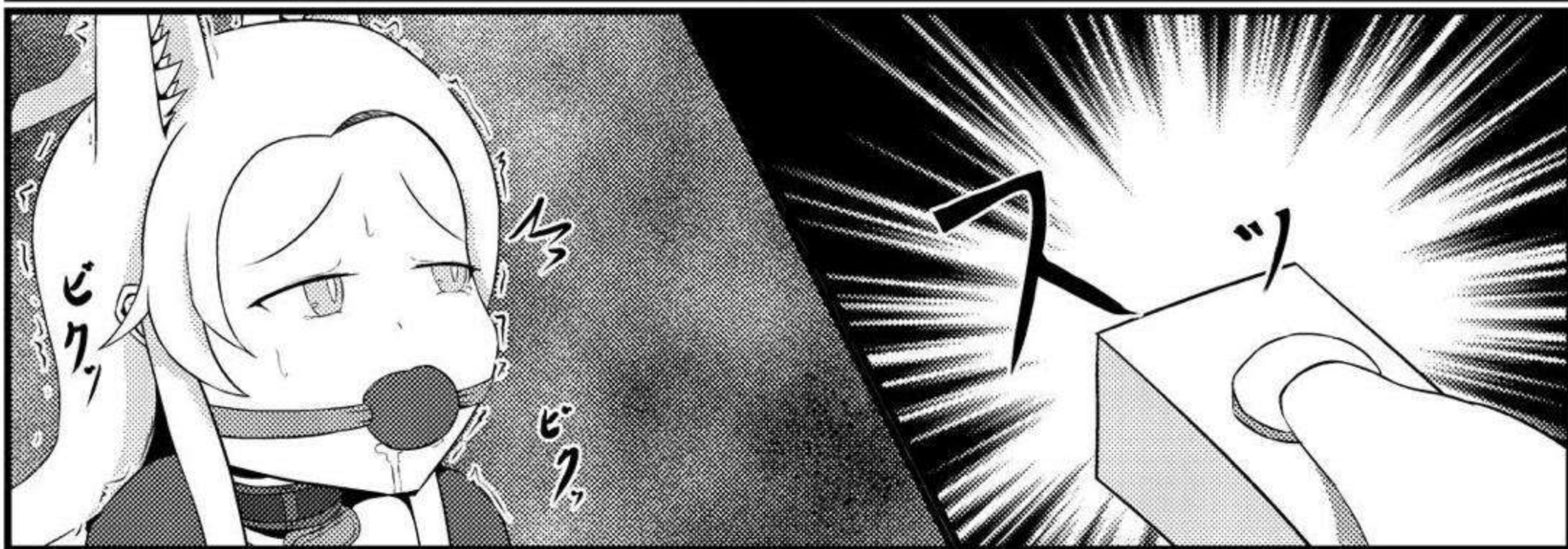
ん？  
どうしたの  
そんな心配そうな  
顔して？

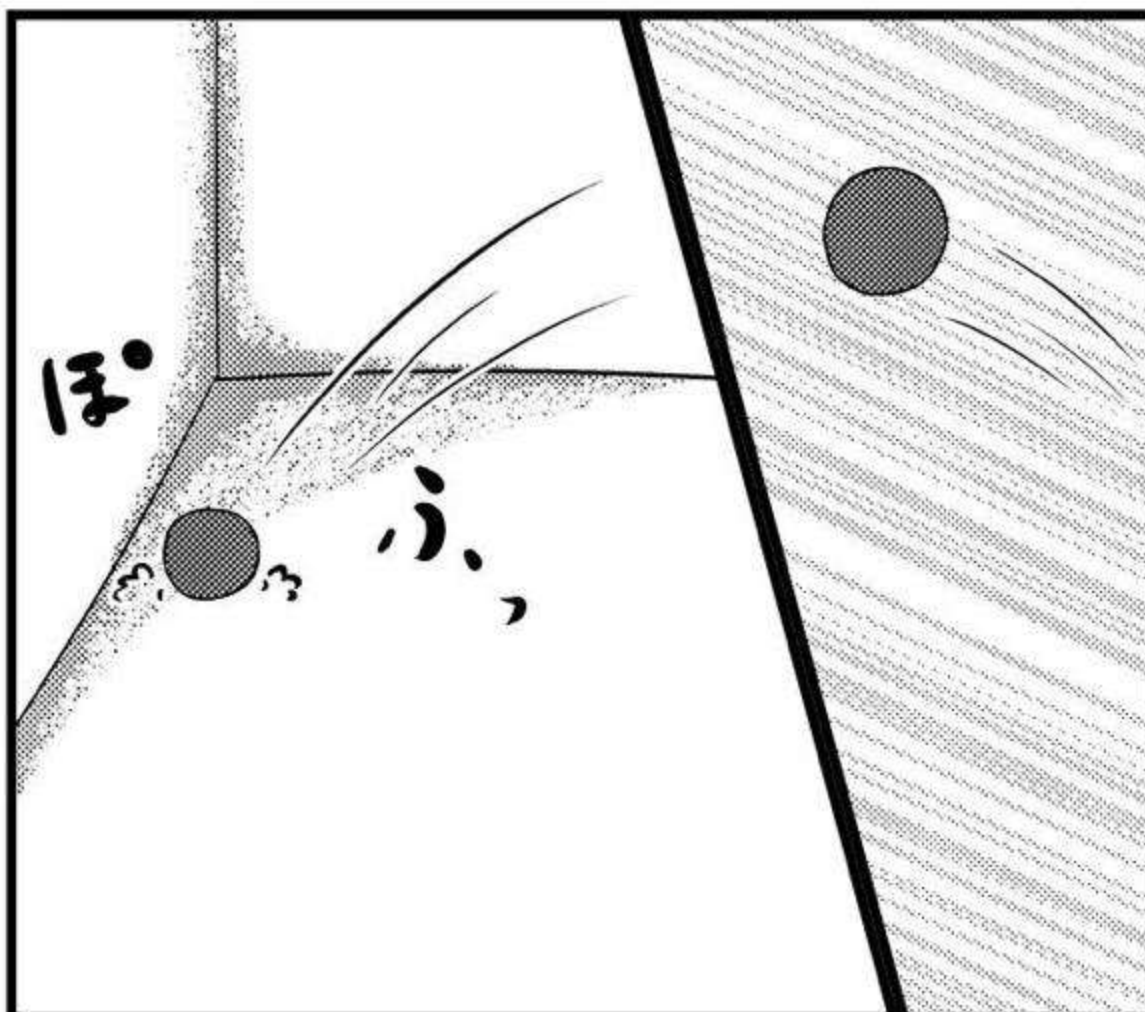
何をさせる気かって？

心配しなくても  
大丈夫だよ



君が今着ている  
そのヒトイヌスーツの  
テストをほんのちよつと  
手伝ってもらうだけだからさ







う、動きたびに  
中でこすれて…

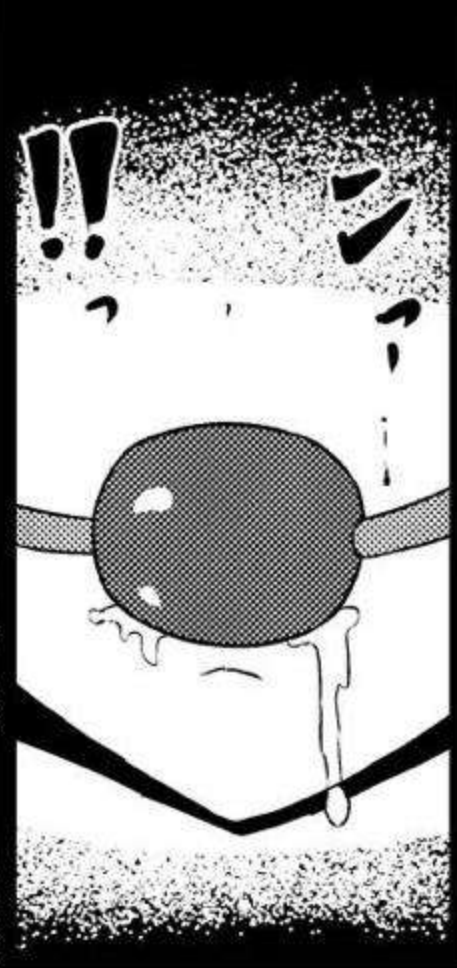


歩くだけで…  
気持ちよく…

いけないっ  
私は何を考えているんだ



ようやく  
たどり着いた…  
あとは、これを…



こんなものを  
啜えさせられた  
状態で…



どうやって  
これ運べというんだい？



おや？  
どうしました？

ああ、  
なるほど…



しかし、外してしまうと  
騒がしそうですし

その音で  
もしばれてしまったら  
ヘルメット団さんたち  
との約束が…

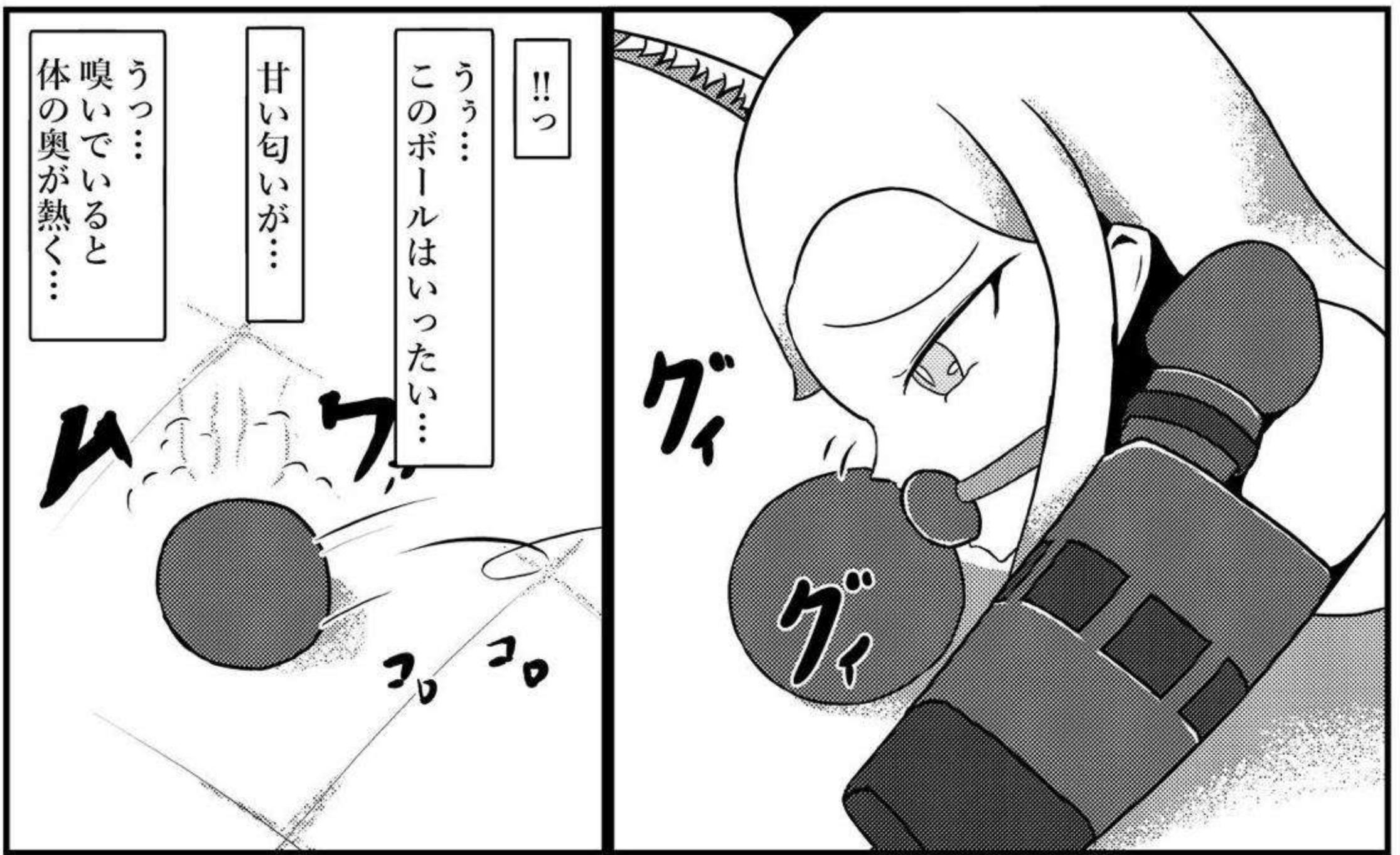
まあ、口で啜えなければ  
運べないってことも  
ないでしょう



そうだ、  
代わりに顔でこう  
ぐいぐいと  
押してくて下さいよ



なっ！！



!!っ

うう…

このボールはいいたい…

甘い匂いが…

うっ…  
嗅いでいると  
体の奥が熱く…

グイ

グイ

コッ コッ

彼女はいいたい  
何をこのボールに  
塗りこんだんだい…

大方、  
ろくでもない薬だろうが…  
いや、今は考えている  
場合ではないな…

ああ、だめだ  
おかしくなって  
しまいそうだ

ビク♡  
ビク♡

うう…  
意識を保ってい  
いられるうちに  
急いで彼女の下へ  
運ばねば…

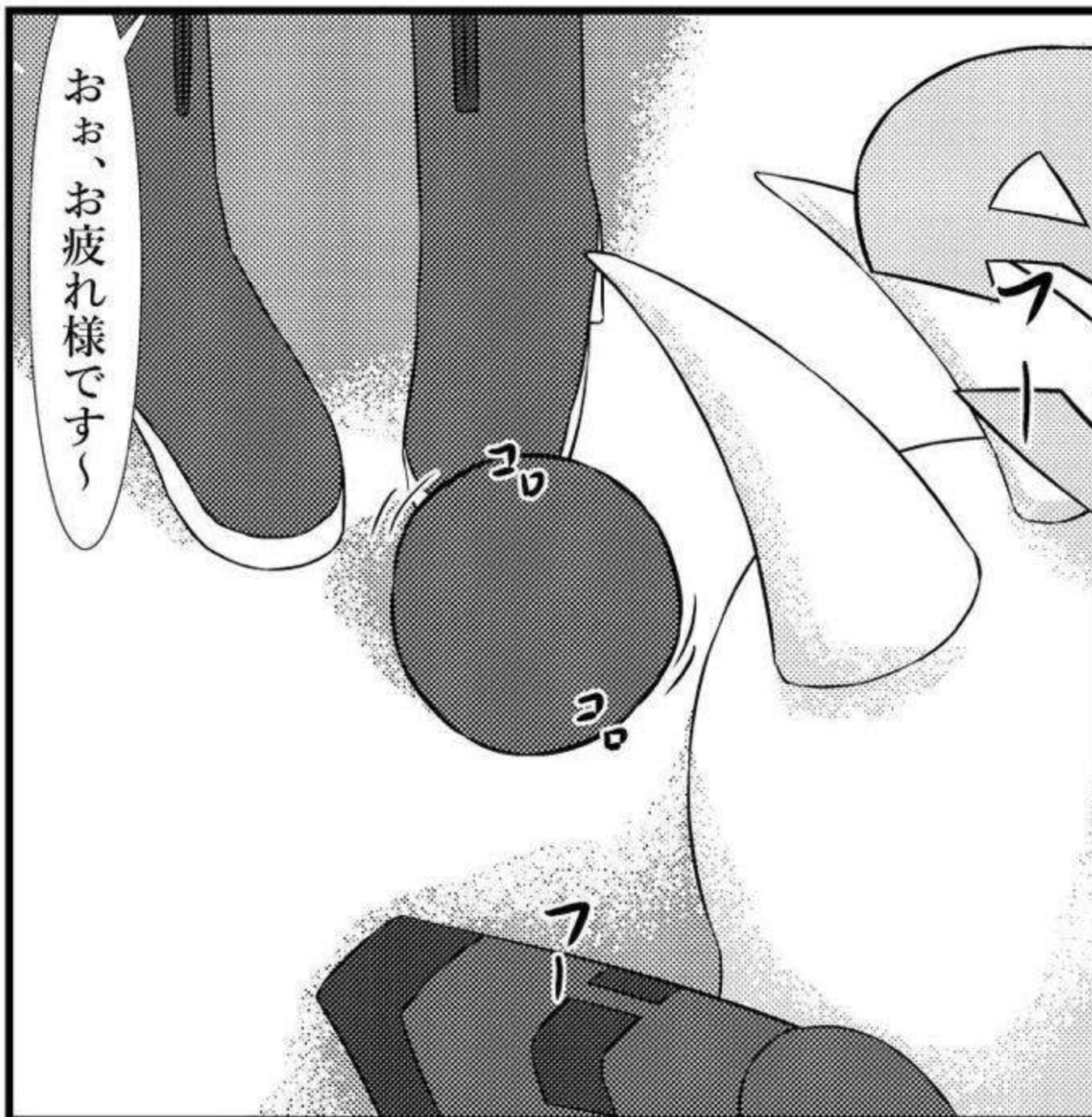
ヨシ

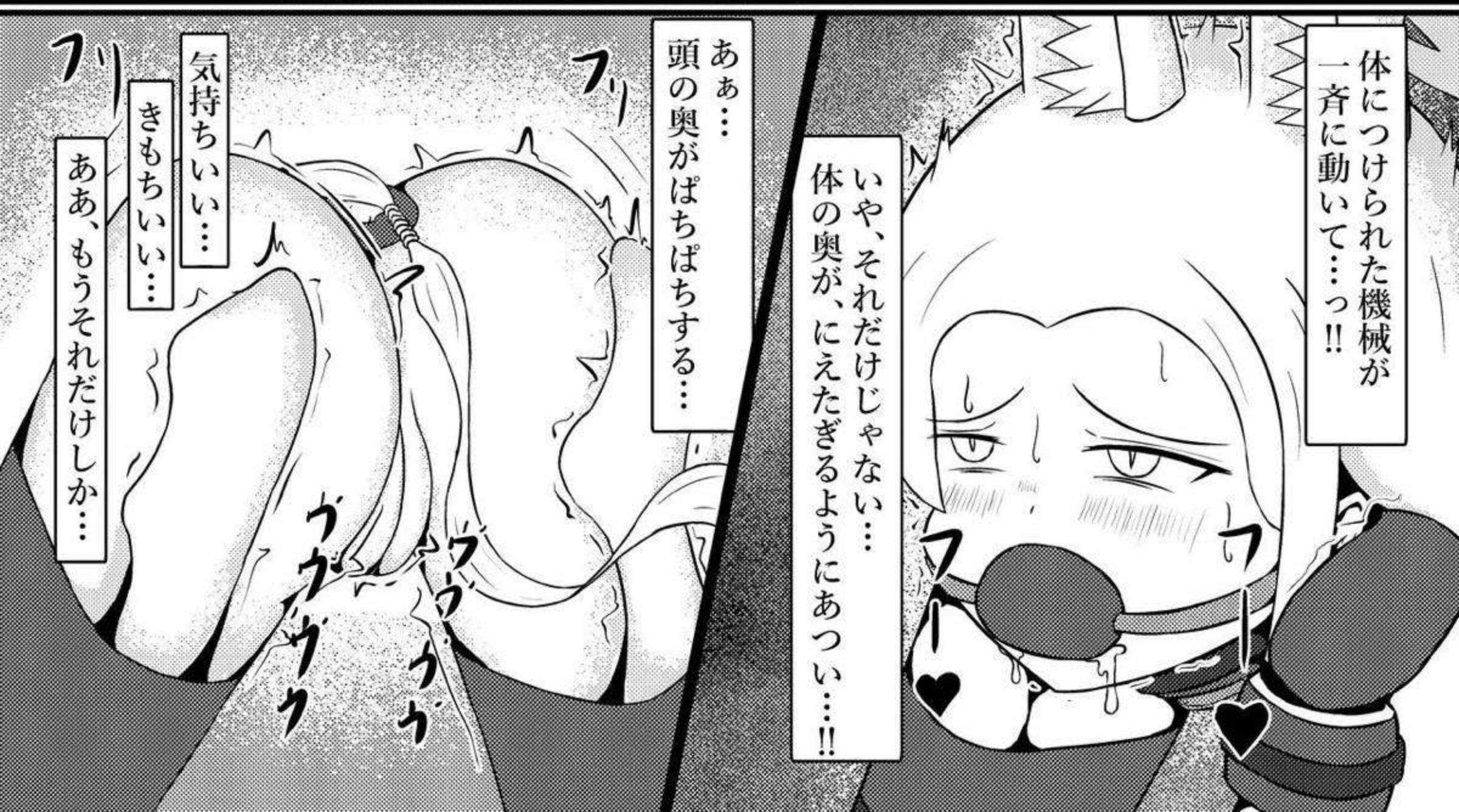
グイ

グイ

ビク♡  
ビク♡

ヨシ





体につけられた機械が  
一斉に動いて…っ!!

いや、それだけじゃない…  
体の奥が、にえたぎるようにあつい…!!

ああ…  
頭の奥がばちばちする…

フリ  
気持ちいい…  
きもちいい…  
ああ、もうそれだけしか…

ああ、もっと刺激が欲しい…  
体がうずいて仕方がない…

一体、私の体は  
どうしてしまったんだ…？

こんな、屈辱的で破廉恥な行為  
だというのに…

体がもっと欲しいと  
求めてしまう

ムン♡  
ムン♡



いけないっ  
このままでは彼女の  
思惑通りになってしまう…

私は仮にも  
ティーパーティーの一翼…  
こんなことで屈するわけには  
いかないっ！

おや？  
持ち直した？

んゝ  
おかしいですね…

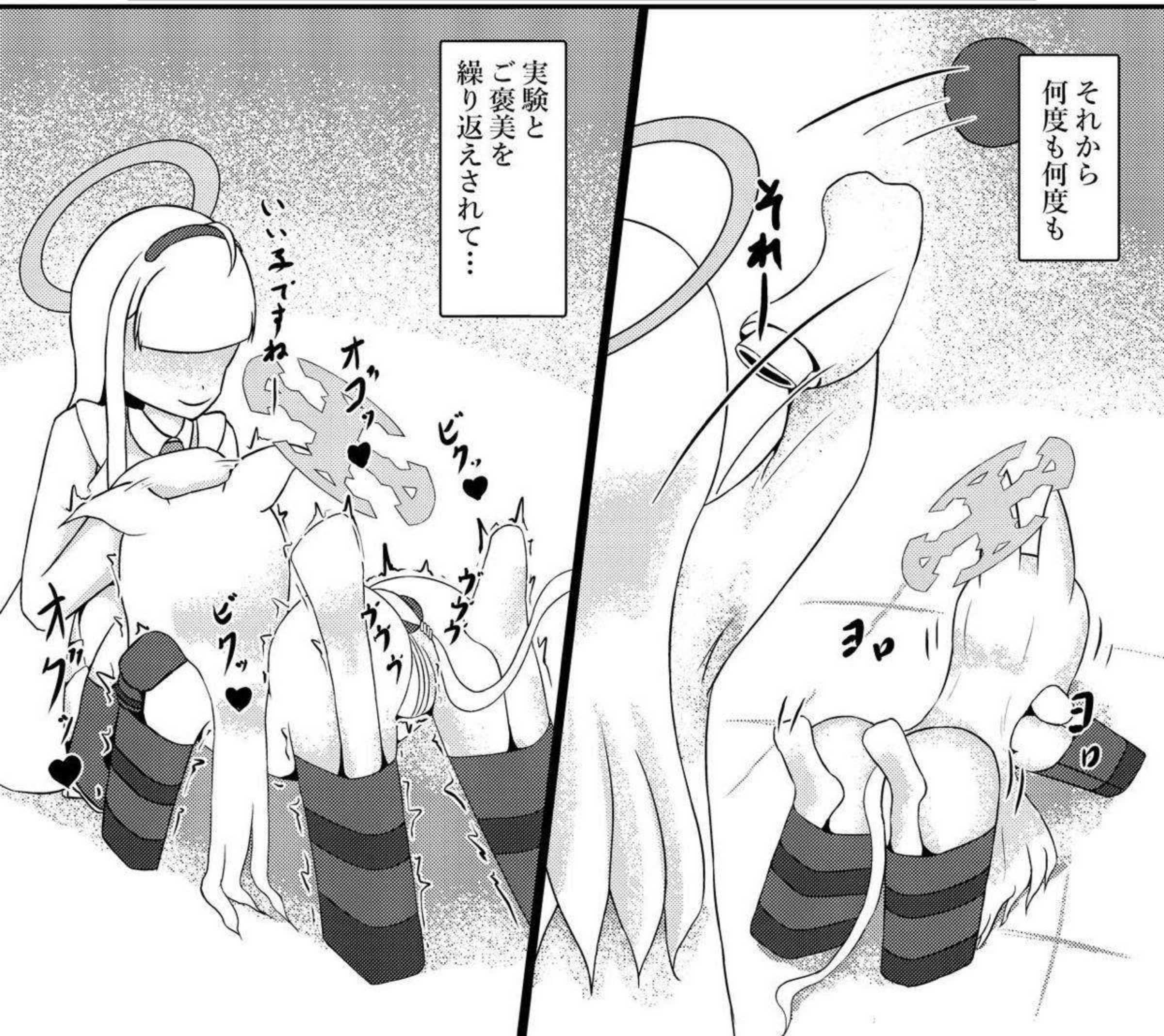
想定では体に塗り込んだ軟膏と  
イヌの模倣という精神的恥辱、  
それにボールに染み込ませた  
香薬の相乗効果で  
一種の催眠状態に  
陥るはずなんですけど…



まあ、実験に失敗はつきもの

時間もまだまだありますから

たっぷり仕込んで  
上げますからね



それから  
何度も何度も

実験と  
ご褒美を  
繰り返えされて…

いいえですわね

オッ

ビク

ウグ

ビク

オッ

数を重ねることに

ちゃんとおしっこ出来ましたね  
えらいですよ

このような恥ずべき行為  
行為に対して

本来あるべき  
忌避感がどんどんと  
消えていく…

もう私は  
手遅れなのだろうか

今もこうして  
犬のように  
食事をとらされている  
というのに  
私はこの行為を  
受け入れてしまっている…

行儀よく食べれて偉いですね

ナギサ…

ミカ…

このままでは  
私は…

トッ

グ  
イツ

心の底まで  
本当の犬のように…

ウグウ

ウグウ

ああ、だれか  
だれでもいい  
私をこの夢から  
解放してくれ…

フ

♡

♡

♡

エ

# あとがき

この度は拙作「百合園セ〇アは愛玩動物の夢を見るか」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます！

周年でのセイア実装とまさかのミレニアムでのイベント。しかもセイアとネルのタッグで潜入調査という個人的ドストライクな内容に、これは描くしかないと思うがままに筆を走らせたのが今作になります。

いや、やっぱり潜入と言ったら、潜入失敗からのえっちな実験体ですよ？笑

今回も多くの方のご支援のおかげで、無事二冊目の同人誌を出すことができました。

SNSでのフォローやリプライなど大変励みになっております。

この場を借りてお礼申し上げます。

本当にいつも作品を見て下さりありがとうございます！

今後とも少しでも自分の好きを皆様に届けられるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

idun

## 奥付

### 百合園セ〇アは愛玩動物の夢を見るか？

発行日：2025年 6月29日

著者：idun

発行：idunの気まぐれ書庫

連絡先：kannagi.kairi@gmail.com

印刷所：株式会社 栄光

\* 本誌の無断転載・複製・複写はご遠慮ください

